

大濠内科での流れ

PSG検査(睡眠チェック)

↓
解析

↓
CPAP管理orマウスピース作製

PSG検査は、自宅で鼻と手にセンサーをつけて寝てもらい、呼吸の有無と睡眠中の酸素濃度の状態を調べる検査です。

- 睡眠時無呼吸症候群
に対する口腔内装置
約3000点
(3割負担; 9000円/回)
- 在宅持続陽圧呼吸療法
1350点/月
(3割負担; 4050円/月)

大濠内科

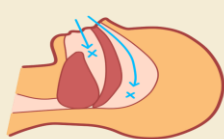
SASマウスピース

睡眠時無呼吸症候群

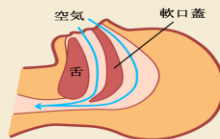
AHI(無呼吸低呼吸指数)が

- ・ 5~15 軽症
- ・ 15~30 中等症
- ・ 30~ 重症 となっています。

AHI: 5~20くらいが
マウスピースに適しています。



閉塞



正常

無呼吸は舌根が落ちて気道をふさいでいる状態なので、マウスピースをつけることによって、下の顎を持ち上げて気道を広げ、空気を通りやすくします。



大濠歯科 でのマウスピース症例件数
期間; 2021.5~2023.3

47 例



マウスピースの作製手順

印象採得
(型取りをします)

↓
咬合採得
(下の顎をどのくらい前方に出すかを決めます)

↓
3週間ほどで完成



大濠歯科